

Ageo Chuo Elementary School 2025,

October

# English Report



Written by Megumi Tateishi

Everybody can enjoy SMILE TALK!

What shape is this?

What size is this?



4年2組17名！

Is it a lemon???

「たじろがずに英語を使って話すこと」を目的に“SMILETALK”的活動が始まりました。昼休みにお知らせは入れるもの、何人集まるかわからない状態です。時間にお伺いすると10人前後の児童たちが待ってくれています。なんと担任の先生も参加してくださり、子どもたちにとっては担任の先生の英語が聞けることも楽しいようです。

「どうやって話していいかわからない。」とどきどきしながらも ALT の話す言葉にさっと耳を傾けます。ALT の話はほぼ理解ができています。与えられた課題をどう表現をするか、わからないときは自然に ALT の話し言葉から真似を始めます。言い方がわかると何度も繰り返していくうちに文章で話をする姿が見られます。

The shape is like a rugby ball!

It tastes very sour.

The color is like a banana.



6年生はまちがいさがし。2枚の絵でどんな違いがあるかを英語を使って説明しました。どうしても間違っていることを伝えたくて、一生懸命話そうと知っている語彙を使って熱心に話すことができました。

That's good !

"L" ... I got it !



日本語を全く使わない20分間。自分の力で考えて見つけたものや言葉は特別！

There are 10 differences between the 2 pictures.

Also 4 others. It's hard!

Upside ? Downside ? Right ? Left ?

6年3組17名！

The missing is the leaf.  
Leaves? Leaf じゃないの?  
The missing is leaves. 3 leaves but it has no leaves.

Ok, the missing is the ほうき,  
What is ほうき?  
Oh, the broomstick is long,  
but this is short.



Let's take a look at classes!

3,4年生



## We enjoyed "Halloween Party."

パーティーという名のアルファベットの学習を行いました。ハロウィンのキャラクターの名前をアルファベットで読み、丁寧に書く練習をしました。子どもたちはアルファベットと同時にフォニックスの学習を行っています。書きながら「Vam、パはp」など音声にのせながら書く姿が見られました。キャラクターの言い方を学習した後は、マッチングゲーム最後は“Up” “Tap” “Crap”の似ている言葉を聞き取ってjesusチャーチを繰り返し、“Get!”でカップを取り合うゲームで楽しみました。授業では日本語の指示が減ってきています。英語を聞いて「多分こんなことを言っているのかな。」と類推し、自分で考えて行動をしています。「これであつていたんだ。」「わかった!」「ああ、そういうことか!」というそれぞれの発見がよろこびにつながっています。



5年生

## My favorite place is a library. Where is a library?

全く知らない地図を使って、好きな場所に行きたい友達のために道案内をしました。必要に迫られた伝え合う場面です。案内通りに動かなかったり、右左を間違えたり、案内するほうもされるほうも一生懸命考えて最後までたどり着きました。何度も繰り返し練習してできるようになった人もいますが、繰り返し友達の発表を聞いて言えるようになった人もいました。言葉の習得には繰り返すことが大事です。まずは聞こえたことをそのまま真似をする。それが言えるようになったとき、相手の話す英語が聞き取れるようになります。「聞く」と「話す」は連動していると思います。



## 誰かに伝えたいという気持ち

先日、中学校と小学校の先生方で外国語科、英語科について意見交換をすることができました。その中で中学校の先生と一致した意見が「誰かに伝えたいという気持ちをもつこと。」でした。そのためには場面設定が必要になります。どんな場面や条件、状況で話をするのかで伝えたい内容が変わってきます。学習の中で「言語活動」という言葉があります。それは「実際に英語を使って互いの考え方や気持ちを伝え合う活動」と定義されています。たとえば"Do you like sushi?"と聞かれて、Yes, Noだけでは会話を終わらすのではなく、その後に続く言葉が大事だと思っています。

Yes, I do. I like tuna very much. How about you? / No, I don't. Why do you like sushi?